

令和3年5月24日

## 5月の木材価格・需給動向

### 1. 国産材(北関東)

栃木県では原木生産、各共販所への入荷ともに順調である。間伐材・小径木も順調に動いている。4月中旬以降元落ちはなく、完売が続いている。スギ材・ヒノキ材ともに引き合いが強く、全体に値を上げている。

群馬でも原木入荷は順調だが、原木価格の値上がりが続いている。ヒノキ土台・中目原木が全体的に品薄である。スギ4m材も少ない。注文が細かいため、製材効率は悪いがフル操業。需要が多く、人手不足のため残業を行っている。問合せ、受注ともに多く異常な状況である。受注はスギ間柱、仮筋交い等を中心にパンク状態。集成材と米マツの代替材と見られる問合せが依然として多い。納期の回答ができないため見積もりも不可能である。製品価格は毎週2,000円/m<sup>3</sup>程度値上がりしており、断り価格の雰囲気である。

### 2. 米材

カナダ・米国とも好天に恵まれ、原木の出材は順調。港頭在庫は低水準が続いているが、輸出需要に見合う供給は行われている。米マツIS級並の対日輸出価格(推定)は4月に続き5月も\$30アップの\$1,050になった模様。一方、米国の製材品、構造用パネルは高水準の住宅着工を背景に4月に入り、毎週史上最高値を更新している。ランダムレングス紙発表の15種平均価格(5/7)は\$1,414/Mとなり、3月末に比べ37.8%の上昇。シカゴ先物価格は\$1,700/Mに達している。日本向け製材品価格も\$1,700/Mを上回るオファーとなる模様。原木価格の値上がりは緩やかだが、ワクチンの普及に伴う工場生産の上昇により原木消費の増加が予想され、原木価格も予断を許さない。海上運賃は3月までに一旦軟化しかけたが、4月中旬より再度上昇基調にある。

3月原木入荷は212千m<sup>3</sup>と大幅な増加、1~3月累計で546千m<sup>3</sup>(前年同期比2.1%増)、カナダからの入荷は前年同期比82.5%増。出荷は227千m<sup>3</sup>で入荷を若干上回り、1~3月累計は542千m<sup>3</sup>(同7.7%増)。在庫は減少し148千m<sup>3</sup>、在庫率は0.89ヵ月となり1ヵ月を切った。東京木材埠頭の4月入荷は16千m<sup>3</sup>(前月比4.8%減)、出荷は16千m<sup>3</sup>(同1.3%減)、在庫は25千m<sup>3</sup>(同1.1%増)。米材製材品の供給減少に欧州材の供給減少予想も加わり、国内製材工場は活況である。米材製材最大手は産地FAS価格の上昇、海上運賃の急騰により3月2回の値上げに続き、4月も再値上げを表明。5月はWFP社のバルク船入港

で米材製材品の入荷量は一時的に増加するが、根本的な解決にはならないだろう。

### 3. 南洋材

サラワク州では完全に乾季入りし、全く降雨がなく、河川の渇水により原木のバージ船での運材が滞っている。ローカル向け、輸出向け原木のタイト感は払拭できていない。インド向けの引き合いも落ち着き、3月に上昇したFOB価格は4月になり高値張り付きの状態。PNGでは4月に入り中国からの引き合いが強く、FOB価格はさらに上昇を続けている。マレーシア、インドネシアからのコンテナ不足は依然解消されず、運賃は上昇している。5月予想の原木入荷は3千 $m^3$ 、出荷3千 $m^3$ 、在庫7千 $m^3$ 。製材品入荷は30千 $m^3$ 。

### 4. 北洋材

産地製材工場の稼働率はコロナの影響もあり通常の8割程度の模様。冬山伐採が終了し、今後新規原木の搬入は減少。主力シッパーの中には、日本市場の価格上昇を見越して意図的にオファーのタイミングを遅らせているところも見られる。中国からの引き合いは高値により一服している。アカマツ原板は\$250/ $m^3$ （底値から+160%アップ）、\$650/ $m^3$ を唱えるシッパーもいる。欧州WW原板と上げ幅率は同等である。アカマツ野縁製品は\$800/ $m^3$ 、100,000円を狙う勢いだ。国内製材工場では原板確保に奔走、採算度外視で高値でも買わざるを得ない状況にある。受注は一般、DIYルートとも引き続き順調。現地挽きアカマツ野縁製品は流通玉がなく値段は存在しない。上級グレードの先物価格の100,000円/ $m^3$ にいつ到達するかがポイントである。国産完成品は各社原板在庫、受注残が薄くなっており、取引各社に値上げを提示。5月予想の原木入荷、出荷とも2千 $m^3$ 、在庫は7千 $m^3$ 。製品入荷(東京+川崎)22千 $m^3$ 、出荷22千 $m^3$ 、在庫25千 $m^3$ 。

### 5. 合板

合板用原木の国産材は不足感が続いており、価格も強含み。ロシア材も価格は強含み。米材は米国内向け、中国向けの引き合いが強く、価格は高値張り付き。南洋材は出材が少ないが、今のところ大きな問題はない。

3月の国内合板生産量は27.2万 $m^3$ 、うち針葉樹合板は26.4万 $m^3$ 、出荷量は26.4万 $m^3$ で在庫量は11.4万 $m^3$ となり、このうち構造用合板の在庫は9.1万 $m^3$ とやや減少した。針葉樹合板は引き合いの強い状態が続いており、価格も値上がりしている。また納期にも時間を要している。各メーカーとも非常に少ない在庫量となっており、先行き価格も強含みが続くだろう。輸入合板はほ

ば全ての品目で強い品薄感が継続しており、価格も強含みの状況に変化はない。3月の合板輸入量は21.4万 $\text{m}^3$ と今年一番の入荷となり、マレーシア産が大幅に増加したが、インドネシア産は平均的な入荷となった。インドネシアでは各国から引き合いが強く、価格も強気姿勢が続いている。原木不足等から各工場ともフル生産となっていない。マレーシアでは多くの工場が原木不足となっており、限られた生産となっている。

## 6. 構造用集成材

4月ラミナ入荷は通常よりやや少なかった。第1・四半期交渉のオファーの減少や世界的なコンテナ不足の影響により日本向け確保は困難を極めている。第2・四半期交渉は350ユーロ/ $\text{m}^3$ の過去最高値を記録したが、第4・四半期はさらに上昇する見込みが強い。400ユーロ/ $\text{m}^3$ を超える声も聞かれ、引き続きオファー価格は強含み基調になるだろう。ラミナ価格同様、輸入集成材の価格は管柱・平角とも今後73,000円/ $\text{m}^3$ を超える模様。

## 7. 木材チップ

チップ原木の入荷は端境期あり低調だが、製紙・バイオマス用ともに引き合いは強い。解体材は例年に比べ発生量は低調でタイト感が強い。製紙用の国内針葉樹チップの使用量は増加しており、各社とも増集荷体制を継続している。燃料用は大型定期修理があるもののタイト感が非常に強い。原木は各社とも在庫量が少ない。燃料用についても在庫少なく、タイト感が強い。

## 8. 市売問屋

ここに来て急に値上がりになってきた。1週間ごと、各市日ごとに単価が変わってきている。スギ、ヒノキKD材の柱、間柱、筋交い等が売れている。またGR材の羽柄材の動きも良くなってきた。KD材は $\text{m}^3$ 当たり万単位の値上がりになっている。外材不足により国産材スギヒノキのKD材への樹種変更になってきた。

## 9. 小売

町場の工務店にも木材、合板等の資材が十分に流通していない状況が認知され始めた。新築予定の工務店では先行して資材を確保する動きが見られる。一方、リフォーム物件中心の工務店では大きな影響は見られない。外材の代替としてスギ柱、間柱は急な品薄状態で逼迫している。価格も強含みから値上げ。ヒノキ土台角、柱角の荷動きも活発になってきている。外材はほぼ全て値上がり。羽柄材も外材製品を中心に品薄となっており、代替材にシフトするなど混乱している。

参考資料

(一財)日本木材総合情報センター

令和3年5月24日

1. 主要外材入出荷在庫量

|     |     | 入荷量 | 出荷量 | 在庫量 |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| 米材  | 丸太  | →   | →   | →   |
|     | 製材品 | ↘   | →   | ↘   |
| 北洋材 | 丸太  | →   | →   | →   |
|     | 製材品 | →   | →   | →   |
| 南洋材 | 丸太  | ↘   | ↘   | ↘   |
|     | 製材品 | →   | ↘   | ↘   |

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記の様に示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

| 国内製造量 | 輸 入 量 |        |       |
|-------|-------|--------|-------|
|       | 計     | インドネシア | マレーシア |
| ↘     | →     | →      | →     |

3. 価格動向

| 樹材種 | 形 状                              | 取引条件                        | 樹種・寸法等                                  | 動向 |
|-----|----------------------------------|-----------------------------|---|----|
| 国産材 | 丸太                               | 卸売価格<br>(北関東、県内産<br>市場土場渡し) | スギ柱材 (3m) 2等                            | ↗  |
|     |                                  |                             | スギ中丸太 (3.65m) 2等                        | ↗  |
|     |                                  |                             | ヒノキ柱材 (3m) 2等                           | ↗  |
|     |                                  |                             | ヒノキ中丸太 (4m) 2等                          | ↗  |
|     | 製材品<br>(関東近県産<br>板は東北産)          | 首都圏・市売り<br>価格               | スギ柱角 (KD) 10.5×10.5×3m 特等               | ↑  |
|     |                                  |                             | スギ柱角 (KD) 12.0×12.0×3m 特等               | ↗  |
|     |                                  |                             | スギ間柱 (KD) 10.5×3.0×3m 特等                | ↑  |
|     |                                  |                             | スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等                 | →  |
|     |                                  |                             | スギタルキ 3.0×4.0×3.65m                     | ↗  |
|     |                                  |                             | ヒノキ柱角 (KD) 10.5×10.5×3m 特等              | ↑  |
| 米材  | 丸太                               | 産地価格<br>国内卸売価格<br>(京浜・オントラ) | 米マツ ISタイプ                               | ↗  |
|     |                                  |                             | 米マツ ISタイプ コースト                          | ↗  |
|     | 製材品<br>(カナダ産・<br>現地挽き)<br>(国内挽き) | 東京・問屋店頭<br>渡し価格             | 米ツガ桁角 (KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m     | ↗  |
|     |                                  |                             | SPF 2×4 J-Grade R/L                     | ↗  |
|     |                                  |                             | 米ヒバ土台角 (GR) Std&Btr 4・13/16" 13'        | ↗  |
|     |                                  |                             | 米マツ平角 (KD) 特等 10.5×24.0×4m              | ↗  |
| 南洋材 | 丸太                               | 産地価格<br>東京・水面筏<br>渡し価格      | メランティレギュラー                              | →  |
|     |                                  |                             | メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用                | →  |
|     | 製材品                              | 産地価格<br>東京・問屋店頭<br>渡し価格     | メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用                | →  |
|     |                                  |                             | ホワイトセラヤ 平割 (サバ州産)<br>同上2.4cm×込み×4m 定尺1等 | →  |
| 北洋材 | 製材品                              | 国内卸売価格<br>(京浜・オントラ)         | アカマツ (KD) 30×40上級                       | ↗  |
|     |                                  |                             | アカマツ (KD) 16×40上級                       | ↗  |
| 欧州材 | 製材品<br>(現地挽き)                    | 東京・問屋店頭<br>渡し価格             | ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC         | ↗  |
|     |                                  |                             | ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺           | ↗  |
| 集成材 | 国産                               | 東京・問屋店頭<br>渡し価格             | ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ                    | ↗  |
|     |                                  |                             | スギ 無化粧 JAS 5プライ                         | ↗  |
|     | 欧州産                              | //                          | 10.5×10.5×2.98m                         | ↗  |
| 合板  | 国産                               | 東京・問屋店頭<br>渡し価格             | タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6                   | ↗  |
|     |                                  |                             | タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6                   | ↗  |
|     |                                  |                             | 型枠 12.0mm厚 3×6                          | ↗  |
|     |                                  |                             | 針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆                 | ↗  |